

平成 30 年度協働事業実施に係る
提案の審査について

答 申

平成 30 年 3 月 28 日

水戸市協働推進委員会

目 次

平成 30 年度協働事業実施に係る提案の審査

審査結果及び全体講評	1
各事業の概要及び委員会意見	2
選考過程・基準	7
委員名簿	8

平成 30 年度協働事業実施に係る提案の審査

審査結果及び全体講評

【 審査結果 】

本委員会における審査の結果は、次のとおりである。

推薦する事業

- 国田地区の名所・史跡探訪を通した魅力再発見プロジェクト
- スマイルアースプロジェクト ～外国人も日本人も住みやすい地域をつくる～
- 水戸オーガニ蕎麦プロジェクト&野菜作り
～蕎麦や野菜栽培を通した地域交流と健康生きがい増進事業～
- 水戸の緑と野鳥の森整備事業
- 谷中二十三夜尊骨董市賑わい創出事業

【 全体講評 】

平成 30 年度水戸市協働事業に対しては、5 件の協働事業が提案され、2 月 28 日に公開プレゼンテーションが実施された。このうち、前年度からの継続が 4 事業、新規事業が 1 事業であった。コミュニティ組織を基礎とする団体や協働運営体が組織された団体などからの提案もあり、公益的な活動に取り組む様々な主体が、協働によるまちづくりを進めていこうという、意識の広がりを感じることができた。

提案のあった事業のうち、「スマイルアースプロジェクト」、「水戸オーガニ蕎麦プロジェクト&野菜作り」、「谷中二十三夜尊骨董市賑わい創出事業」が、平成 30 年度で 3 年目の実施となるが、これまでの取組の成果を検証し、市担当課とともに、更なる内容の向上を図っていただきたい。また、4 年目以降の事業継続に向けた、新たな組織とのつながりづくりや、財源の確保などについても、情報収集に努め、運営体制や収支計画の検討にも取り組んでいただきたい。

いずれの事業についても、事業運営の担い手に更なる広がりができることで、よりよい事業展開が図られると感じた。団体によっては、高齢化が目立っていることから、次の世代への継承についても、継続的に取り組んでいくことが重要である。

協働事業提案制度は、平成 31 年度で 10 年目を迎えるが、市民活動の余地はまだまだあると思われるので、市側からの課題の提示や事業の呼びかけなどを積極的に実施していただきたい。

今後も、様々な分野において、市民活動団体と市が、お互いの特性を生かしながらパートナーとして事業に取り組むことで、相乗効果が生まれ、市民と行政との協働によるまちづくりが更に発展していくことを期待したい。

各事業の概要及び委員会意見

提案事業名	国田地区の名所・史跡探訪を通じた魅力再発見プロジェクト	推薦する (153点)
提案団体 国田歴史学習会	市の担当課 市民生活課	
事業の概要	<p>地域の人々によって守り継がれてきた歴史性のある文化遺産を，地域が主体となって掘り起こし，地域の魅力発見につなげるとともに，名所・史跡等の選定過程やウォーキング事業による地区間交流を通じ，近年希薄化しているコミュニティの復活を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国田地区の名所・史跡等の再発見 2 歴史講演会の開催 3 名所・史跡等を結ぶウォーキングコースの設定とマップ作成 4 「田園ウォーク in 国田～自然と歴史を訪ねて～」(仮称)の開催 	
委員会意見	<p>歴史，自然，文化継承といった視点から，地域が主体となって，魅力向上に取り組む本事業は，様々な可能性を持った大変有意義な事業である。</p> <p>事業初年度は，学習会や環境整備などから着手されると思われるが，本事業の趣旨である地域コミュニティの復活には，子どもたちを巻き込んでいくことで，活性化が図られるものである。ウォーキングイベントやマップづくりに，子どもたちが興味を持てるような要素を取り入れるとともに，国田地区には，国田義務教育学校があり，小規模特認校として特色ある教育が実施されていることから，地域の学校との連携・協働による取組などについても，今後，検討していただきたい。</p> <p>本事業が地域活性化へのモデル事業となることを期待する。</p>	

提案事業名	スマイル アース プロジェクト ～外国人も日本人も住みやすい地域をつくる～	推薦する (136点)
提案団体 グローバルキグループと支える会	市の担当課 文化交流課	
事業の概要	<p>外国人市民が、水戸市の様々な地域、場所、分野において、活動の幅を広げている中で、水戸市民を中心とした日本人市民と笑顔でふれあい、理解を深めることで、それぞれの文化や考え方を活かし、外国人が自立した生活ができる住みやすい地域社会をつくれるよう、異文化理解を進め、共生に向けた取組を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 外国人親子市内めぐり 2 外国人子育てガイドペーパー改訂版作成 3 国際交流ふれあいの場の開催 など 	
委員会意見	<p>本事業は、外国人市民と日本人市民がお互いに理解を深めることで、住みやすい地域社会を作ることを目的としている。外国人が企画運営の主体となって進めており、アンケートを実施するなど、外国人のニーズ調査に努めている点は評価できる。</p> <p>しかしながら、市内には約 3,200 人も外国人市民がいる中で、対象者が限定されている感がある。今後、より多くの外国人市民を巻き込んだ、事業展開が求められる。</p> <p>外国人との交流イベントやふれあいの場づくりなどを積極的に実施し、ネットワークづくりに努めていただきたい。</p> <p>市担当課においては、より広域的・効果的な事業展開に向け、関係機関との連絡調整や広報周知等、積極的な支援を行っていただきたい。</p>	

提案事業名	水戸オーガニ蕎麦プロジェクト&野菜作り ～蕎麦や野菜栽培を通じた地域交流と健康生きがい 増進事業～	推薦する (140点)
提案団体 一般社団法人 茨城県健康生きがいづくり協議会	市の担当課 農政課	
事業の概要	<p>水戸市内の遊休農地で、蕎麦の種蒔きから収穫、蕎麦打ちなど、蕎麦に関連する様々な体験を楽しめる場を提供する。さらに、一連の体験を通じて、地域の人々、福島からの避難者、都心の人々など、様々な人の交流を図り、地域住民間、家族間の絆を深め、地域コミュニティの活性化に寄与する。</p> <p>1 蕎麦や野菜作り 畑耕起、有機質肥料仕込み、種蒔き、除草・土寄せ、収穫など 様々な体験の場を提供</p> <p>2 収穫祭</p>	
委員会意見	<p>地元地域との交流を重視する方向性が出てきたことは、今後の事業展開を図る上で評価できる。提案団体は、構成規模は大きいですが、健康生きがいづくり、福島からの避難者との交流など、これまで実施してきた事業の核である家族的な温かい雰囲気大切にしながら、活動を続けていただきたい。</p> <p>収穫祭などでは、子どもたちの姿も多く見られたことから、ワークショップを実施するなど、今後、子どもたちも参加できる要素を取入れることも検討していただきたい。</p> <p>本事業は、平成30年度の実施で、最終年度となるため、運営経費の見直しを進めながら、効率的な事業運営にあたっていただきたい。</p>	

提案事業名	水戸の緑と野鳥の森整備事業	推薦する (161点)
提案団体 特定非営利活動法人 エコ・グリーンいばらき	市の担当課 農政課	
事業の概要	<p>水戸市栗崎町，百合が丘町，六反田町などの自治会・町内会や子ども会など13の関係団体との協働連携により，同町周辺にまたがる平地林を整備し，不法投棄を防止するとともに，市民が身近な緑を感じることができるよう，地域の環境保全と自然保護を進める。</p> <p>1 平地林の整備 立木の除間伐，下刈り，枯損木の除去，苗木の植樹，散策路の整備</p> <p>2 学習会等の開催 県の環境問題に関する学習会，巣箱づくり等</p>	
委員会意見	<p>本事業は，平地林の整備を進めることで，現地を市民が緑に親しむことができる場所とすることを目的としており，自然保護に対する継続的な取組が必要である。</p> <p>現在，担い手が高齢化しているとのことだが，事業を担っていける次世代への継承の方法についても検討を進めていただきたい。</p> <p>今後，整備した森で，例えばプレイパークを実施してみるなど，地域の人材や特性を生かし，もう一步進んだ魅力づくりにも取り組んでいただきたい。また，平地林の持つ豊かな資源を活用するなど，運営経費に関する情報収集に努め，整備事業が発展していくことを期待する。</p>	

提案事業名	谷中二十三夜尊骨董市賑わい創出事業	推薦する (130点)
提案団体 株式会社日宣メディックス	市の担当課 観光課	
事業の概要	<p>愛宕町から八幡町周辺の歴史的遺産や緑地・湧水を湛える地域は、「ロマンチックゾーン」として、観光エリア及び市民の憩いの場になっている中で、アジサイが咲き乱れる保和苑を中心に、幕末・明治にかけての歴史に関わる回天神社、常磐共有墓地、桂岸寺等の周辺の史跡・名所とも連携し、骨董市を開催することで、地域の賑わい創出につなげる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 骨董市の開催 2 歴史アドバイザー水戸の案内による園内散策 3 末広町商店会周遊促進 	
委員会意見	<p>本事業は、平成28年度から取り組まれており、着物やワークショップを取入れたり、地元飲食店からの出店を呼びかけるなど、様々な工夫を凝らしていることは評価できる。今後こうした要素を充実させながら、更なる活性化を図っていただきたい。</p> <p>来年度はあじさい祭りとの連携を検討しているとのことだが、本市の他の観光イベントとの連携を深めることで、相乗効果も図れることから、検討を進めていただき、事業の更なる発展を期待したい。</p>	

選考過程・基準

【 選考過程 】

協働事業提案書をもとに、2月28日に実施された公開プレゼンテーションにおいて、事業の概要や協働による効果、役割分担、収支計画などについて、提案団体から説明を受けた。また、提案団体及び市の担当課に対して、委員による質疑応答を行った。

その後、全体での審査において、全委員の総合得点をもとに、各提案事業について、公共性や協働の必要性などの面から、協働事業として実施すべきか否かについて審査した。また、効率性や役割分担など、事業に取り組むに当たって、提案団体と市の担当課がさらに協議を深めるべき事項について意見した。

【 選考基準 】

提案書類と公開プレゼンテーションをもとに、8つの審査項目に沿って採点した。各委員の持ち点を40点とし、全委員の採点を合計した総合得点を審査の基礎とした。

また、今回の審査では、提案団体のスキルアップと、より質の高い事業提案を促進するため、総合得点の6割にあたる120点を推薦に値するかどうかの基準として設定した。

なお、提案団体の家族、親族、関係者である委員は、公平性の観点から当該提案事業の審査は行わず、他の4名（5名出席のため）の委員による採点の平均点を加算して、得点を調整することとした。

審査項目及び審査の視点（40点満点）

審査項目	審査の視点	配点
先見性・独創性	新たな着想や創意工夫があるか	5
事業の公共性	不特定多数の利益，社会全体の利益につながるか	5
ニーズの理解	社会的課題や市民ニーズをとらえているか	5
協働の必要度	協働による相乗効果が期待できるか	5
事業の将来性	成果の活用や波及効果など将来展望が明確か	5
手段の効率性	労力や経費などの見積りが適切か	5
役割分担	自立性を尊重し，お互いの長所を生かしているか	5
実現可能性	自己資金の確保や企画内容が実現可能か	5

水戸市協働推進委員会委員名簿

氏名	所属等	組織区分	備考
委員長 金本 節子	茨城大学 名誉教授	学識経験者	
副委員長 大野 覚	認定NPO法人茨城NPOセンター・ コモンズ 事務局長	NPO代表	
水嶋 陽子	常磐大学 人間科学部教授	学識経験者	
桧山 孝	水戸市ボランティア連絡協議会 副会長	ボランティア代表	
金成 滋	水戸市住みよいまちづくり推進協議会 常任理事	コミュニティ代表	
鹿倉よし江	水戸女性会議 幹事	女性団体代表	
石川 浩之	水戸商工会議所 事務局長	関係団体	
益子 直之	水戸青年会議所 理事長		
齊藤 寿子		公募市民	
羽石 英司			